

2023年7月2日
礼 拜

聖書

創世記37章1～11節

37:1 さて、ヤコブは父の寄留の地、カナンの地に住んでいた。37:2 これはヤコブの歴史である。ヨセフは十七歳のとき、兄たちとともに羊の群れを飼っていた。彼はまだ手伝いで、父の妻ビルハの子らやジルパの子らとともにいた。ヨセフは彼らの悪いうわさを彼らの父に告げた。37:3 イスラエルは、息子たちのだれよりもヨセフを愛していた。ヨセフが年寄り子だったからである。それで彼はヨセフに、あや織りの長服を作ってやっていた。

37:4 ヨセフの兄たちは、父が兄弟たちのだれよりも彼を愛しているのを見て、彼を憎み、穏やかに話すことができなかつた。37:5 さて、ヨセフは夢を見て、それを兄たちに告げた。すると彼らは、ますます彼を憎むようになった。37:6 ヨセフは彼らに言った。「私が見たこの夢について聞いてください。37:7 見ると、私たちは畑で束を作っていました。

すると突然、私の束が起き上がり、まっすぐに立ちました。そしてなんと、兄さんたちの束が周りに来て、私の束を伏し拝んだのです。」37:8 兄たちは彼に言った。「おまえが私たちを治める王になるというのか。私たちを支配するというのか。」彼らは、夢や彼のことばのことで、ますます彼を憎むようになった。

37:9 再びヨセフは別の夢を見て、それを兄たちに話した。彼は、「また夢を見ました。見ると、太陽と月と十一の星が私を伏し拝んでいました」と言った。

37:10 ヨセフが父や兄たちに話すと、父は彼を叱って言った。「いったい何なのだ、おまえの見た夢は。私や、おまえの母さん、兄さんたちが、おまえのところに進み出て、地に伏しておまえを拜むというのか。」37:11 兄たちは彼をねたんだが、父はこのことを心にとどめていた。

説教
ヨセフの見た夢

創世記は37章から終わりの50章まで、14の章をさいてヨセフの生涯を取り上げています。アブラハム、イサク、ヤコブよりも多くのページを割いています。しかし37章2節には「これはヤコブの歴史である」とヤコブの歴史と書かれています。

ヤコブの147年の死は創世記49章33節に、ヨセフの110歳の死は創世記50章に書かれています。

創世記はヨセフの人生のドラマで閉じられています。

37:1 さて、ヤコブは父の寄留の地、カナンの地に
住んでいた。37:2 これはヤコブの歴史である。ヨセ
フは十七歳のとき、兄たちとともに羊の群れを飼っ
ていた。彼はまだ手伝いで、父の妻ビルハの子ら
やジルパの子らとともにいた。ヨセフは彼らの悪い
うわさを彼らの父に告げた。

ヨセフ、17歳の時の出来事。

ヨセフはヤコブの11番目の子として、ヤコブの最愛の妻ラケルから生まれています。ヤコブはレアのための7年、ラケルのための7年、14年間の花嫁料の年季奉公が終わった時、ヨセフが生まれています。その後、ラバンと6年、不利な契約で働いた後、ハランを出て、ベテルに、ヘブロンに戻っています。ヤコブ一族がイサクの元に返って11年が経ったときの出来事です。

ヨセフが6歳の時、ヤコブはハランを出て、シェケム、ベテルと旅をして、ヘブロンに着き、11年の歳月が流れヨセフは17歳の青年になりました。旅の途中でベミヤミンが生まれ、その時母ラケルがなくなっています。12人兄弟の下から2番目、ディナを入れると13人兄弟、6歳の時、旅の途上で母ラケルが死ぬ。自分を支えてくれた母が亡くなり、10名の異母兄弟たちとと共に生活してヨセフは17歳になっています。

ヤコブの家庭の問題点

ヤコブは20年、12名の子を育てながらラバンの所で寄宿して、そこを出て、ヘブロンで家庭生活を送りましたが、問題山積の人生。

ヨセフ偏愛、えこひいきの問題。

3節、「イスラエルは、息子たちのだれよりもヨセフを愛していた。ヨセフが年寄り子だったからである。それで彼はヨセフに、あや織りの長服を作ってやっていた。」

ヤコブはイスラエルという素晴らしい信仰に基づく名前を与えられていますが、ヨセフ偏愛の問題、弱さ、罪からは解放されていません。

父イサクはエサウを偏愛し、母リベカはヤコブを偏愛した。それがヤコビ家の大きな問題になっていましたが、悔い改め、反省の実りなく、ヤコブは最愛の妻ラケルの子ヨセフを偏愛しています。この家庭の遺伝的な問題なののでしょうか。この家庭に留まらず罪に墮落した人類普遍の罪の問題と判断されます。

ヤコブはヨセフを偏愛しています。

3節にはその理由として年寄り子と書かれています。
ヤコブがヨセフを偏愛したのは年寄り子と言うだけではなかったでしょう。

13人の子の12番目、年寄り子であります。何よりも最愛の妻ラケルの初子、これが大きな理由。

又ヨセフ6歳の時、母ラケルが死んでいきます。

6歳で母を亡くしたヨセフへの不憫な思いも偏愛に拍車をかけたことでしょう。

偏愛の問題、罪は私たちの人生のどのような所に現われて来るでしょうか。親は子供を平等に愛する。学校の先生は生徒を平等に愛する、牧師は信徒を偏愛しない。好き嫌いで行動しない。好き嫌いを十字架につけることが必要。

偏愛が心の領域だけでなく、ヨセフに特別な服、綾織りの長服を作って着せている。他の子供たちが遠くで牧畜の生活をしているのにヨセフは父のそばにいる、服装、労働の免除、と言う目に見える形に偏愛は発展している。

父ヤコブはヨセフを愛しているつもりではありますが、結果的には、ヨセフは他の兄弟から嫌われ、憎まれる、穏やかに話すことが出来なくなる、ヨセフの人生に、人格形成に、人間関係形成に不利な状況を招いています。

5～11節でヨセフは自分の見た夢を兄弟たちに、
又父ヤコブに話しています。

お母さんのリベカはこの時にはなくなっていました
が、ヨセフの夢には登場します。

「私が見たこの夢について聞いてください。」
とわざわざお兄さんたちに聞いてくださいと夢の話
しを語っています。

最初の夢は

「私たちは畑で束を作っていました。すると突然、私の束が起き上がり、まっすぐに立ちました。そしてなんと、兄さんたちの束が周りに来て、私の束を伏し拝んだのです。」

この夢の話しを聞いてお兄さんたちは
「おまえが私たちを治める王になるというのか。私
たちを支配するというのか。」

と怒っています。

ヨセフはこれに懲りないで又見た夢の話しを父や
兄たちにしていきます。

「また夢を見ました。見ると、太陽と月と十一の星が
私を伏し拝んでいました」と言った。

父は彼を叱って言った。「いったい何なのだ、おまえの見た夢は。私や、おまえの母さん、兄さんたちが、おまえのところに進み出て、地に伏しておまえを拝むというのか。」

今度は父ヤコブがヨセフを叱っています。

父ヤコブがヨセフを偏愛している、特別扱いをしている、寵愛をしている、これがヨセフの人格の健全な成長をゆがめています。ヨセフは後、エジプトで苦しみの中で、この人格の歪みを矯正されています。

ヨセフの問題点。

他者、自分の兄弟たちの気持ちは読めない。
偏愛が原因で兄たちと穏やかに話すことが出来
なかった。

「ヨセフは彼らの悪い噂を彼らの父に告げた。」

2節。

父から寵愛されている、兄たちの悪い噂を直ぐ父に通告する。その結果兄たちと真実な交わりが出来なくなってしまう。

人の忠告や感想が聞けなくなってしまう。兄たちが悪いことをしている、それは直接兄たちに伝えることも出来る、しかし直接言わないで、父に告げ口している。その時の兄たちの気持ちがかたく読めていない人になっている。

夢の話しも同様であります。兄たちが私を伏し拝んで
いる夢をとうとうとヨセフは何の悪びれもなく話し
ています。

ヨセフは見た夢を正直に話しています。嘘でもなく、
作り話しでもありません。本人は見た夢を正しく、正
直に語っています。

しかし、それを聞く兄たちの心象についての理解力
洞察力は全くありません。

兄弟同士が何を話しても、問題があれば、それを
注意していただける穏やかな交わりが大切です。

この夢は正しい神様からのお告げ、啓示でありました。でも、私たちが神様の正しい啓示を人に伝える時、愛を持って、相手が理解出来る形で語らなければ、コリント13章に語られているように愛が無ければ正しいことを語っても、やかましいドラやシンバルと同じになってしまいます。

後にヨセフはエジプトで牢獄に入れられます。

そこでヨセフが夢を見たのではなく、

献酌官長と調理官長が夢を見て苦悩している時、

夢の意味を解いています。

さらにエジプトの王が夢を見て苦しんでいる時にも

夢の意味を解説しています。

本来なら夢の意味がわかったとき、始めて必要な人に、必要な時に語ったらよいことです。

この時ヨセフは夢の意味を知っていなかったのもので、人に語る意味も必要もありませんでした。

ヨセフは不要なことを語り、その結果、

自分の首を絞めるような

自分を苦しみに会わせる原因を作っています。

聖書のことばを人に語る時も
愛を持って語り、
その人がわかるように、理解出来る様に
語りすることが大切です。

今週のことばにヘブル1章1節を取り上げました。

神は昔、預言者たちによって、多くの部分に分け、
多くの方法で先祖たちに語られましたが、

1:2 この終わりの時には、御子にあって私たちに
語られました。神は御子を万物の相続者と定め、
御子によって世界を造られました。

1:3 御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完
全な現れであり、その力あるみことばによって万
物を保っておられます。御子は罪のきよめを成し
遂げ、いと高き所で、大いなる方の右の座に着か
れました。

神様は旧約時代は夢や預言者のことばなど、
いろいろな方法で語られました。
今は御子イエス様を通して語っておられます。
イエス様のことばとみわざを使徒たちが目撃して、
それを聖書という形で私たちに与えてくださっています。
今は聖書が完結して聖霊の助けによって神様の御心を知ることが出来ます。神様は今は夢を通して語られません。夢を見ても余り悩まなくても大丈夫です。

神様はみことばと聖霊によって罪人を救い、
罪人を用いて神様のみわざを行われます。

神様は問題だらけのヤコブを用い、
又人の心の全く読めないヨセフもその後豊かに用
いてくださっています。

空気が読めない人も主に用いられます。
私たちの周りのヨセフのような方も主にあって受け
入れ愛していきましょう。

今日、神様は心に与えられた
夢やビジョンを用いて生かしてくださいます。
幻のない民は滅びると箴言に書かれています。

キング牧師は

私には夢があると有名なことばを残しました。
差別のない日が来ることの夢を見て働き続けてお
られました。

家族の救い、子供たちの成長や未来に活躍する夢を見ながら、今、心燃やされて行きたいと思います。ヨセフは奴隷に売られても気落ちしませんでした。夢が彼を支えていたことでしょう。主はどんな人でも豊かに用いて活路を与えてくださいます。老人になっても、からだが病の冒されても、夢とビジョン、希望に生きて行きましょう。

祈り。